



- 国際会長主題:輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen(デンマーク)
- アジア太平洋地域会長主題:新しい時代とともに、エレガントに変化を Chen Ming Che(台湾)
- 東日本区理事主題:未来に向けて今すぐ行動しよう 佐藤 重良(甲府 21)
- あずさ部長主題:ワイズへの参加と交流を楽しもう 後藤 明久(富士五湖)
- 甲府やまなみクラブ会長主題:準備を整えよう! 藤原 一正

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 2月
No.17

●今月の強調目標

TOF・UGP・HTW

●今月のことば

「Imagine all the people living life in peace.」

藤原 一正 君 選

今月の例会案内(第17回)

TOF(Time of Fast) 例会

- 日時:2024年2月7日(水) 18:30~20:30
- 会場:山梨YMCA
- 司会:仙洞田安宏 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 藤原 一正 君
- ・おにぎりタイム
- ・会員卓話 藤原 一正君
「中小企業診断士の仕事」
- ・諸報告(前期会計報告・次期会長選出)
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo of monthly



1月19日、新年4クラブ合同例会に参加した、やまなみクラブメンバー(シャトレゼホテル談露館)

1月のデータ

会員数:12名 例会出席:5名
 例会出席率:42% メーカー:松本
 修正出席率:50%
 甲府:11名・甲府21:24名(うちメネット2)・
 富士五湖:7名、ビジター:大和田(松本)・
 ゲスト:5名、計53名
 ニコニコ:48,000円→山梨YMCAを通じて
 能登半島地震支援へ

ハッピーバースデー

メン 遠藤 成人 (2/6)
 メネット 米山 千恵 (2/10)

今月のことば

藤原 一正 君

「Imagine all the people living life in peace.」

思い描いてみてみなさんも一緒に、平和に生きる人生を有名なジョン・レノンのimagin(イマジン)という歌詞の一節ですので皆様ご存じかもしれません。

2024年の元日から能登半島の地震が起きたりと、なかなか平穏な日常とはいかない年はじめとなり、その他も様々な地域で戦争が起きたりしています。今年こそは平和に過ごしたいと思いながら、なかなか実現しないのが現状ですが、毎回聴くたびに少しでも希望をもっていきたいと思える曲です。

今年は甲辰とのことで何か新しい事を始めるのに良い年であるとのことですが、皆様が今年一年良い年になるようにお祈り申し上げます。

●●● 新年合同例会報告 ●●● 仙洞田安宏

元日の能登半島地震というショックが冷めやらぬ1月9日(火)、山梨県内の4クラブ(甲府・甲府21・富士五湖・甲府やまなみ)の新年合同例会が、甲府21クラブのホストによりシャトレゼホテル談露館で開催されました。

甲府21・小沢公紀会長の点鐘で開会、ワイズソング、ワイズの信条を唱えた後、今月の聖句・一言では駒田勝彦さん(甲府21)が、遺伝子学者・小林武彦氏の著書「人はなぜ老いるのか」の読後感の考察を披露されました。小沢会長の挨拶のあと、日本YMCA同盟総主事・田口努様の卓話がありました。事前の演題は「ユースの成長と共に、わくわく喜びあうワイズメン」というものでしたが、前日まで能登半島を周って避難所のサポート計画をリサーチしてきた関係で、前半はYMCAと災害ボランティアの歴史について話されました。



- ・関東大震災(1923年)でYMCAが行ったボランティアは日本における災害ボランティアの魁となった。
- ・2016年の熊本地震では熊本YMCAが指定管理者



50人以上の参加者があった合同例会

となっている、益城町総合運動公園と御船町スポーツセンターが避難所となり、民間が避難所を運営するはじめてのケースとなった等々。

そして後半は今回の能登半島地震の被災状況をスライドで紹介され、YMCAのノウハウを活かして支援活動に取り組みたいと話されました。

その後、「ユースタイム」として、山梨YMCAユース三人による活動報告があり、ハッピーバースデー、諸報告を経て第一部が終了しました。

第二部の祝会は当クラブの藤原一正会長の開会の辞、甲府21・小野興子さんの食前感謝と続き、富士五湖クラブ・原淑子次期会長による乾杯の発声でワイズディナーとなりました。その間に、この一年で入会した会員の紹介があり、当クラブの大澤祥子さんも紹介されました。

最後のプログラムは、大月市在住の歌手・しらいみちよさんのステージ。しらいさんは、これまでに雲仙普賢岳の噴火で亡くなられた方々への鎮魂歌「レクイエム」を発表、以来被災地復興支援活動を続け、阪神淡路大震災の犠牲者とほぼ同数の6500本の桜を全国100市町村に植樹、神戸市主催の追悼式ではオリジナル曲「想春」が選ばれ献唱しました。現在は2万本を目標に東北での植樹活動も続けています。アンコールも含めて6曲を熱唱されましたが、その中には東日本大震災の鎮魂歌「勿忘(わすれな)の鐘」、関係が深い能登町のために制作した「のとの風」や、ウクライナ避難者支援のために制作した「ひまわり」などがありました。

最後にYMCAの歌を歌い、甲府クラブ・金丸さぶろう会長の点鐘で閉会となりました。盛り沢山のプログラムで時間が押しましたが、時宜にかなった例会でした。

出席者(敬称略):ゲスト5名-田口努、風間奈月・菊池央人・渡辺結菜(山梨ユース)、しらいみちよ、ビジター1名-大和田浩二(松本)、甲府-11名、甲府21-24名(うちメネット2)、富士五湖-7名、やまなみ-藤原・米山・大澤・福田・仙洞田、計53名



しらいみちよさんの熱唱

第13回お正月を 遊ぼうに参加して

米山 俊彦



1月8日成人の日の祝日、甲府駅北口のアシストエンジニアリングよちやばれ広場で、毎年、恒例となっ

ている「お正月を遊ぼう」が開催されました。

このイベントは、NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会が、羽根つきやコマ回しなどのお正月遊びをはじめ、昔からの遊びを通して、子供達に日本の伝統文化を伝える中で、北口地域に賑わいを創り出す事を目的として行ってきたもので、今年で13回を迎えました。

ワイズメンズクラブとしては、甲府ワイズ、甲府21ワイズ、そして甲府やまなみワイズの3クラブの会長が、実行委員会の副実行委員長に就任するとともに、当日は、「紙飛行機とぼし」と「羽根つき、コマ回し」「めんこ、けん玉」の3つのコーナーをそれぞれのクラブが担当して、子供達に遊び方を教えたり、一緒に遊んだりして、楽しみながら参加をしました。

ワイズメンズクラブ以外にもロータリークラブをはじめ、文化団体や自治会関係など様々な団体が、日頃の練習の成果を発揮して、獅子舞や小唄などの日本の伝統的な芸能を披露するとともに、すごろくやかるた、福笑いなど、お正月に因んだ遊びを子供達に教えたりして、新春の一日を楽しく「お正月を遊ぼう」の開催に協力していました。

やまなみワイズからは、松本さんと仙洞田さんが「めんこ、けん玉」のブースを受け持ち、子供達だけでなく親の世代にも“めんこ”を教えたり、一日中、大勢の子供達に囲まれて活躍していました。

私は、甲府駅北口まちづくり委員会の一員として実行委員会の本部業務に携わったため、やまなみワイズとしての活動は、お二人にお任せしましたが、子供達が、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん達と一緒にあって、家族ぐるみでこのイベントを本当に楽し



んでいる様子を見ることができて、大変、嬉しく思いました。そして、こうしたイベントは、ボランティアとして協力していただく団体や個人があっはじめて開催が可能になるという事を改めて、強く感じました。

これからもやまなみワイズとして、YMCAの事業をはじめ、いろいろなイベントへの参加やチャリティ事業への協力などを継続して行う事で、クラブの活動の幅を広げて行きたいと思います。

結びに、「第13回お正月を遊ぼう」の開催にあたり、ご協力いただきました全ての方々には実行委員会本部員の一人として、心から感謝を申し上げ、参加報告とさせていただきます。



能登半島地震支援募金へ協力を

▼日本YMCA 同盟への寄付

- ◆第1次募金期間:2024年3月31日まで
- ◆募金用途:・被災地近隣YMCAと協働して行う、能登半島地震の被害を受けた地域への支援活動。
- ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動
- ◆募金方法:各YMCAの窓口へ直接お持ち下さい。

▼ワイズメンズクラブ東日本区への寄付

下記口座に「能登半島」と記載の上送金をお願いします。

ゆうちょ銀行からの振り込み:ゆうちょ銀行 口座記号
番号:00110-0-362981

他の金融機関からの振り込み:ゆうちょ銀行 019 支店(当座)0362981

口座名義は「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」

※まとめて日本YMCA 同盟へ寄付いたします。

行事予定

✓2月10日(土)

- ・あずさ部第2回評議会
(高尾の森わくわくビレッジ・ホスト東京八王子クラブ)

✓2月15日(水)

- ・後期東日本区費納期

✓3月6日(水)

- ・3月例会 (シャトレゼホテル談露館)

✓3月9日(土)・10日(日)

- ・次期クラブ会長・部役員研修会(東山荘)

✓3月27日(水)

- ・役員会 (山梨YMCA)

会計より

後期会費 15,000 円を 2 月例会で徴収しますので
ご持参下さい。

温故知新～史料室の書棚から

「わたしの夢見るワイズメンズクラブ」

—異質の中の同質に学ぶ—最終回

布能 寿英

9. ワイズメンの価値とは何か

では一体、ワイズメンズクラブの固有の価値とは何であろうかと考えてみた時、いくつかあげることができると思う。

私たちは日常の大部分の時間を自分の職場なり、会社その他の組織内で過ごしているが、それらではうるこののできぬものがワイズにはあると思う。

私は、ワイズメンズクラブは、先ず我々を精神的に開放してくれる場であり、例会のプログラムによって、又会員同志の交わりを通して、異質の中の同質に学ぶときを、豊かに備えていてくれるのに気づくものである。

以下感ずるままに列挙すると

- ・自分の同業組合の人々との交わりでは得られないもの
- ・自分の住んでいる地域社会の中では得られないもの
- ・商工会議所、青年会議所、商工会、あるいは自分の所属の商店街の交わりでは得られないもの

等々に思い当たる。いいかえると、ワイズメン、そしてワイズダムのみが固有に持っているものを、自らの心におのずと感じとり、これがワイズだと確信と誘いを持って、自らにいい聞かせうるようになるようになった時、私たちは、ワイズメン会員としての価値を見出し、又自覚するワイズメンとして自立するすることができたと申し上げよう。

かくして、私たちの視野は広まり、ワイズメン特有の思考も深められていくように思われ、さらに申すならば、自

分自身の欠点と、自己の限界を自覚しようとする努力、即ち自己をできる限り客観視していく姿に変えられていくのである。もとより人間一人の力はごくわずかであり限りがあるが、その中で、自身の足らざるものの補給源としてワイズメンメンバーの夫々の持っている貴重な体験の中から異質のものを学びとり入れていくことがワイズメンの重要な価値の一つと言える。

10. おわりに

私たちの地上での人生は、一回切りである。

この二度とない人生で、幸いにもワイズメンズ・クラブに出会い、その会員に選ばれ、良き多くの友を与えられ、その中で自己を育て、又育てられていく私たちは、YMCAに向かって自己の持てるエネルギーを放出して、世のために役立っている存在であることの自己確認を重ねつつ、その奉仕のわざによって知らず知らずのうちに、自らの心の乾きをいやし、更に大きなエネルギーを充電していくために、すすんでワイズの例会に出席し、又諸々のプログラムに、積極的に参加しているのである。

鉄は鉄によって鍛えられるという例えの如く、人は人によってのみ、より良質の人となることができるものと申せよう。

ワイズメンズ・クラブの活動によって展開されていくメンバー相互の切磋琢磨は、同時に、その地域社会の人々のために、良き影響を連動してやまないことの確信を、我々は持つべきであろう。

この確信をもちえた時、我々はワイズメンとしてのまことの歓びと、ワイズメンのみにらえられている雄大な醍醐味を、調歌できることを信じてやまない次第である。



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「山梨YMCAの使命」

皆さんご存じの通り、山梨YMCAは人の一生涯である0才からの保育園事業から、老いに寄り添う高齢者デイサービス事業までの途切れ目のない支援をしております。また、年齢、性別、国籍、生きやすさ生きづらさを問わず集う場となることを目指し、ひとりひとりが与えられた命を大切に、輝くことを最優先し、ひとりの人に寄り添いながら伴走サポートしています。

この山梨YMCAには、1998年5月30日、1998年度山梨YMCA総会で採択された、山梨YMCAの使命があります。「山梨YMCAは、聖書に証されたイエス・キリストをわが神わが救い主と仰ぎ、その御旨に従い、全ての人々の精神、知性、身体の全人的な成長を目指して、地域に根ざした以下の働きを行ないます。」以下とは、1・自己の価値を見出し、共に生きる社会を創り出すために、青少年から高齢者まで

の、生涯にわたる学びのプログラムを展開します。2・創られた全てのものを大切に、自然と人間が共存してゆくための働きをすすめます。3・全世界の人々と連帯し平和を表現してゆくために、特にアジア地域における日本の歴史的な責任を自覚し、近隣諸国とのよりよい友好関係を育てます。4・全ての人々と共に、真の自由と平等を実現するため、差別や偏見を取りのぞくことに努めます。と続きます。

毎年、年度末になると、この使命を読み返し私たちのあるべき姿を見つめ直します。採択された当時から変化のないこの使命ですが、社会と共に歩む運動体であるYMCAは社会・地域の変化と共に歩む方法を考えます。大事なことが詰まったこの使命と共に歩むことを繰り返しているYMCAはだからこそ、事業計画がみつきり、78年の時がつかがり、積み重ねによりよりよくなっていくのだと実感いたします。

ワイズメンズクラブの皆様にもこの使命を知って頂き、これからも共に歩む関係を保ちたいと願います。